

政策シート

(政策名) 世界とのつながりと多様性を活かした都市の活性化
(予算費目名) 国際化推進費

(総合計画体系)

「分野」	地方自治・都市経営
30年後の姿	協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 市民と共に未来をつかむ都市経営

◇政策の概要

○日本人市民と外国人市民がともに暮らしやすい多文化共生社会の実現を目指し、第2次浜松市多文化共生都市ビジョン(計画期間:2018年度～2022年度)における「協働」「創造」「安心」の3つの柱を踏まえた施策を推進する。
○グローバル化の進展に対応し、本市の活性化と国際社会への貢献を果たすため、第2次浜松市国際戦略プラン(計画期間:2019年度～2023年度)を踏まえ、本市の強みや特長を生かした効果的な施策展開を図る。

◇関連するSDGsのゴール

④教育	⑩不平等	⑰実施手段						
-----	------	-------	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	185,704	179,782	178,368	196,674	205,201
決算	160,920	159,962	157,221	170,586	
人件費(A)	62,800	62,800	62,800	50,400	53,200
報酬(B)	189	132	159	209	274
年間経費(予算又は決算+A+B)	223,909	222,894	220,180	221,195	258,675

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
相互理解や交流を深める共生社会づくりの満足度	%	20	目標	12	12	13	14	14
			実績	10.1	13.4	8.8	10	
世界の人々との活発な市民交流	%	25	目標	14	14	16	18	18
			実績	11	13.3	8.9	10.4	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

○日本人市民と外国人市民がともに暮らしやすい多文化共生社会の実現を目指し、第2次浜松市多文化共生都市ビジョン(計画期間:平成30年度～令和4年度)における「協働」「創造」「安心」の3つの柱を踏まえた施策を推進した。
○浜松市国際戦略プラン(計画期間:平成26年度～平成30年度)を改訂し、第2次松市国際戦略プラン(計画期間:令和元年度～令和5年度)を策定した。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

○日本人市民と外国人市民の共生施策推進の拠点である多文化共生センターと外国人学習支援センターの運営を両輪とし、在住外国人の生活及び学習支援に取り組むとともに、外国人集住都市会議おた2018へ参加したほか、外国人の子供の不就学を生まない取組を推進した。
○世界最大規模の自治体の国際的な連合組織である都市・自治体連合(UCLG)へ継続して参加するとともに、ICC研修会を開催し、全国の自治体等の出席のもと、文化的多様性を活かした取組事例の共有を図った。
○市民団体等が行う国際交流・協力、多文化共生に係る活動を支援する等地域における国際交流を推進した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	多文化共生推進事業	○	○	○		186,788	162,994	3.0			0.9	274
2	国際交流連携推進事業	○	○	○		51,583	40,803	1.5			0.1	
3	国際化推進運営経費					20,304	1,404	1.5			3.0	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						258,675	205,201	6.0			4.0	274

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 多文化共生推進事業

◇事業目的・事業対象

日本人市民と外国人市民がともに暮らしやすい共生社会に向けた施策を推進し、相互の理解と尊重のもと、多様性をまちづくりに積極的に生かして創造と成長を続ける、多文化共生都市を目指す。

◇事業の概要

○外国人市民の意見を市政へ反映させるための外国人市民共生審議会や、市民協働及び関係機関との連携強化を図る多文化共生推進協議会の開催／多言語による在住外国人向けホームページの管理運用や行政情報・生活情報の提供／外国にルーツを持つ青少年の社会参加促進のためのキャリア支援／タブレット型情報端末を利用した多言語通訳支援を実施
○外国人学校への助成や日本語教師派遣など支援事業の実施
○サンパコンテストの開催により、外国人市民と日本人市民の交流促進と多文化共生都市・浜松の全国発信を図る。
【R1-R4重点戦略項目No.83】
○就学に課題を抱える外国人の子どもの学びの場を確保するとともに教育機関への就学につなげるための支援を行う。
【H27-H30重点戦略項目No.108】【R1-R4重点戦略項目No.182】
○多文化共生センターにおいて、外国人市民のための多言語の生活相談や情報提供等の多文化共生事業を実施する。
○外国人学習支援センターにおいて、日本語教室をはじめ、共生のための各種講座を市民協働により実施する。
【H27-H30重点戦略項目No.109】
○外国人集住都市会議への参画を通じて、外国人住民に係る課題の解決や多様性を生かしたまちづくりに取り組む。
【R1-R4重点戦略項目No.180】
○多文化共生に係る国内外の連携を通じて、外国人住民の課題の解決や多様性を生かしたまちづくりに取り組む。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H12	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	154,522	149,576	144,999	160,691	162,994
	決算	137,464	135,998	132,843	141,692	
	国・県支出	7,797	9,140	6,887	4,476	59,490
	市債					
	その他	3,032	2,342	2,253	1,529	1,588
	一般財源	126,635	124,516	123,703	135,687	101,916
一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)		189	132	159	209	274
人件費 (千円)		29,900	29,900	29,900	24,220	23,520
人工	正規	3.5	3.5	3.5	3.1	3.0
	再任用(h31)					
	再任用(h26)	1.0	1.0	1.0		
	非常勤	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	○ 10.2,10.4
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1,4.4	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

ゴール及びターゲットの達成に向けた事業である。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
外国人の子どもの不就学者数(人)					II-2(2)ウ		83	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	0	0	0	0	0	0	0	
実績値	2	2	4	2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
多文化共生関連事業参加者数(人)					-		108	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	60000	66000	72000	78000	-	-	-	
実績値	70808	75868	70721	74072	-	-	-	
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
多様性を活かした視点での国内外の多文化共生都市とのネットワーク形成(進捗状況)							109	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	体制づくり	体制づくり	体制づくり	ネットワーク形成	-	-	-	
実績値	他都市と協議・調整	他都市と協議・調整	他都市と協議・調整	ネットワーク形成	-	-	-	
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくりの市民満足度(%)							180,182	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					14	18	20	
実績値				10				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- 外国人市民の意見を市政へ反映させるための外国人市民共生審議会や、関係機関との連携強化を図る多文化共生推進協議会の開催／多言語による在住外国人向けホームページの管理運用や行政情報・生活情報をウェルカムパックとして転入する外国人に窓口で配布／タブレット型情報端末を利用した多言語通訳支援事業、意識実態調査、やさしい日本語コミュニケーション事業を実施
- 外国人学校への助成や日本語教師派遣、外国人学校に通う児童生徒の保護者への教科書購入費助成などの支援
- 外国人市民の交流促進と多文化共生都市・浜松の全国発信を図るため、サンバコンテストの開催準備
- 【R1-R4重点戦略項目No.83】
- 就学に課題を抱える外国人の子どもの学びの場の確保や、教育機関への就学につなげるための支援を実施
- 【H27-H30重点戦略項目No.108】
- 多文化共生センターにおける外国人市民のための多言語の生活相談や情報提供等の多文化共生事業を実施
- 外国人学習支援センターにおいて、日本語教室をはじめ、共生のための各種講座を市民協働により実施
- 【H27-H30重点戦略項目No.109】
- 外国人集住都市会議への参画を通じて、外国人住民に係る課題の解決や多様性を生かしたまちづくりに取り組むもの

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- 第2次多文化共生都市ビジョンの進捗状況について、多文化共生推進協議会を開催し、市の取組を報告するとともに、関係団体・機関との情報共有、意見交換を実施した。
- 多言語による在住外国人向けホームページ「カナル・ハママツ」の管理運用(アクセス件数:228,145件)や、本市に転入する外国人へ窓口でウェルカムパックを配布し、行政情報や生活情報の効果的な提供を行った。
- 教育委員会をはじめ関係機関と連携し、外国人の子どもの不就学を生まない取組を推進した。
- 「外国人集住都市会議」(座長都市:太田市)に参画し、会員都市と連携して国の関係府庁省へ自治体の実態を伝えるとともに、外国人住民に係る施策等についての提言を行った。
- 外国人学校2校への教育事業費の助成のほか、外国人学校に通う児童生徒の保護者への教科書購入費の助成(180人・1,583,264円)など、外国人の子供の教育環境の充実や多様な教育機会の提供を推進した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

○昨年度に策定した「第2次浜松市多文化共生都市ビジョン」を踏まえ、新たな取組として、はままつ多文化共生活動表彰制度の導入や、多言語通訳タブレットの導入、やさしい日本語の講演会・研修会の開催に取り組んだ。
○文部科学省からの補助金を活用し、関係機関・団体との協力の上、外国人の子供の就学促進を図った。
○本市における多文化共生の更なる推進につなげていくため、平成26年度に続き、本市に居住する外国人市民の生活や就労などの実態を把握するとともに、日本人市民の多文化共生に関する意識を調査した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

○外国人材受入れ拡大を踏まえ、多文化共生センターの情報提供・相談業務及び生活情報サイト「カナル・ハママツ」に新たにベトナム語を追加し、多言語化の充実を図る。
○庁内の窓口のほか、各区役所に配備するタブレット型情報端末を活用し、テレビ通話機能付通訳クラウドサービスを利用した多言語通訳によるコミュニケーション支援を図る。
○外国人市民及び日本人市民の意識実態調査結果を踏まえた施策・事業の企画・立案へ活用する。

補助シート (事業名) 多文化共生推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
83	外国人の子どもの不就業ゼロ作戦事業の推進	外国人の子どもの不就業ゼロ作戦事業の推進	外国人の子どもの不就業ゼロ作戦事業の推進	外国人の子どもの不就業ゼロ作戦事業の推進
180	国内外の連携を通じた多文化共生の推進	国内外の連携を通じた多文化共生の推進	国内外の連携を通じた多文化共生の推進	国内外の連携を通じた多文化共生の推進
182	多文化共生センターにおける多言語生活相談や情報提供等の多文化共生事業の推進	多文化共生センターにおける多言語生活相談や情報提供等の多文化共生事業の推進	多文化共生センターにおける多言語生活相談や情報提供等の多文化共生事業の推進	多文化共生センターにおける多言語生活相談や情報提供等の多文化共生事業の推進

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
108	多文化共生センター及び外国人学習支援センターにおいて多文化共生事業を実施	多文化共生センター及び外国人学習支援センターにおいて多文化共生事業を実施	多文化共生センター及び外国人学習支援センターにおいて多文化共生事業を実施	多文化共生センター及び外国人学習支援センターにおいて多文化共生事業を実施
109	体制づくり (他都市と協議・調整)	体制づくり (他都市と協議・調整)	体制づくり (他都市と協議・調整)	多文化共生都市の全国ネットワーク形成

事業シート (事業名) 国際交流連携推進事業

◇事業目的・事業対象

浜松市の特色や強みを生かし、産業や文化の活動拠点として多様な人材が活躍し、世界的な視点から選択され、多くの人が訪れる魅力ある都市を目指す。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.181】

○国際会議を通じた「多文化共生都市・浜松」を発信し、海外諸都市との都市間交流と連携強化を図る。

○語学指導等を行う外国青年招致事業により国際交流員を配置し、地域レベルでの国際交流を推進

○国際交流・協力、国際理解、多文化共生分野に取り組む市民団体等への支援

○地域における国際化を推進する地方公共団体の共同組織である(一財)自治体国際化協会へ分担金を支出し、その活動を支援

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H4	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	29,668	28,692	31,859	34,473	40,803
	決算	22,886	23,277	23,712	27,653	
	国・県支出					
	市債					
	その他	295	320	345	331	3,372
	一般財源	22,591	22,957	23,367	27,322	37,431
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		12,600	12,600	12,600	10,780	10,780
人工	正規	1.8	1.8	1.8	1.5	1.5
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤				0.1	0.1

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	○ 該当なし
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

グローバル・パートナーシップの活性化というゴールは、当事業の取組と同方向と見ることができる。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
国際会議参加回数(回)					-		181	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					2	2	2	
実績値				2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
近隣の日本人市民とのつきあいがあると答える外国人市民の割合(%)					Ⅲ-3(1)イ		-	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	-	-	90	90	-	90	-	
実績値	-	-	-	75	-	-	-	
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
近隣の外国人市民とのつきあいがあると答える日本人市民の割合(%)					Ⅲ-3(1)イ		-	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	-	-	40	40	-	40	-	
実績値	-	-	-	38.2	-	-	-	
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- 国際的なネットワーク組織への加盟を通じた海外諸都市との都市間交流促進と連携強化
- 語学指導等を行う外国青年招致事業により国際交流員を配置し、地域レベルでの国際交流を推進
- 国際交流・協力、国際理解、多文化共生分野に取り組む市民団体等への支援
- 地域における国際化を推進する(一財)自治体国際化協会へ分担金を支出し、その活動を支援

【R1-R4重点戦略項目No.181】

- 国際会議を通じて「多文化共生都市・浜松」を発信する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- 浜松市国際戦略プラン(計画期間:平成26年度~平成30年度)を改訂し、第2次浜松市国際戦略プラン(計画期間:令和元年度~令和5年度)を策定した。
- フランス・ストラスブールで開催された都市・自治体連合(UCLG)執行理事会、インドネシア・スラバヤ市で開催された都市・自治体連合アジア太平洋支部(UCLG ASPAC)執行理事会等へ参加し、会員都市や団体との連携強化を図った。
- (公財)浜松国際交流協会が実施する国際交流・多文化共生活動支援事業に対して助成を行い、市民主体の国際交流・協力、多文化共生活動を推進した。(助成対象事業:34件・5,978,000円)
- (一財)自治体国際化協会を活用し、各種情報提供や海外活動時における支援等を受けた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

○浜松市国際戦略プラン(平成26年3月策定)に示した都市外交方針に基づき、海外諸都市との交流や連携を戦略的に展開した。音楽文化の友好交流に関する協定を締結しているワルシャワ市を訪問し、友好交流を深めた。
○欧州の都市を中心に世界130都市以上が参加し、文化的多様性をまちづくりに生かす取組を進める都市間ネットワーク「インターカルチュラル・シティ・ネットワーク」にアジアの都市として初めて加盟したことを踏まえ、ストラズブル市にある欧州評議会を訪問し、情報交換等を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

○策定した第2次松市国際戦略プラン(計画期間:令和元年度~令和5年度)を踏まえ、関係各課との連携を図り、都市間連携、国際展開等の事業展開に活用する。
○都市・自治体連合(UCLG)及びインターカルチュラル・シティ・ネットワーク(ICC)への参加を通じて、海外諸都市との都市間交流促進と連携強化を図る。

補助シート (事業名) 国際交流連携推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
181	国際会議を通じた「多文化共生都市・浜松」を発信	国際会議を通じた「多文化共生都市・浜松」を発信	国際会議を通じた「多文化共生都市・浜松」を発信	国際会議を通じた「多文化共生都市・浜松」を発信
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 国際化推進運営経費

◇事業目的・事業対象

浜松市におけるグローバル化に対応した対外的な交渉の窓口として、行政の国際化関連業務に係る調整や支援のため、行政文書の翻訳や翻訳者派遣などを行う。

◇事業の概要

- 行政文書や外国語版パンフレット等の翻訳及び通訳者の派遣
- 海外諸都市や在外公館及び駐日外国公館との調整・支援

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H4	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	1,514	1,514	1,510	1,510	1,404
	決算	570	687	666	1,241	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	570	687	666	1,241	1,404
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		20,300	20,300	20,300	15,400	18,900
人工	正規	1.7	1.7	1.7	1.4	1.5
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	3.0	3.0	3.0	2.0	3.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
翻訳対応件数(件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	200	210	220	230	240	270	300	
実績値	240	184	164	163				

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
通訳対応件数(件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	50	54	58	60	64	72	80	
実績値	57	67	68	46				

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- 行政文書や外国語版パンフレット等の翻訳及び通訳者の派遣
- 海外諸都市や在外公館及び駐日外国公館との調整・支援
- 国際化施策等に係る各種連携・調整会議への出席

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

○庁内各課からの依頼を受け、各課業務関連文書等163件の翻訳を行ったほか、市長表敬訪問者来庁時の通訳をはじめ、児童相談所等からの依頼により通訳者を46件派遣するなど後方支援を行い、国際化関連業務を推進した。

○総務省主催による地域国際化連絡会議や、政令市及び東京都で構成される大都市国際事務主管部課長会議など、国際化施策に係る関係機関との連携・調整のための会議に出席し、業務の推進に資する国の関係府庁省のほか、政令指定都市をはじめとした自治体との連携強化を図った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

○庁内の国際化関連業務推進のため、多方面にわたり幅広い後方支援を行った。
○外国人住民に係る施策及び国際化施策の推進に資する国の関係府省庁や政令指定都市をはじめとした自治体との効果的な連携・調整を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

○庁内各課への効果的な後方支援方策について検討していく。
○国の関係府省庁や他都市との連携及び調整のための会議等へは積極的に参画していくものの、引き続きコスト意識を持って業務に携わる。